

『今井線』の退出に伴う学童輸送の実施について

令和6年4月18日、秋葉バスサービス(株)代表取締役社長 山田 光 氏が市長と面談し、令和7年3月末をもって、今井線(袋井駅前～深見東を運行)から退出する意向が示された。今井線については、一般利用がほとんど無く、生活バス路線としての役割は極めて小さいことから、今井線からの退出は、やむを得ないものと判断する。

1 現在の運行状況

- 一般利用がほとんど無く、生活バス路線としての役割は極めて小さい。
- 利用者が限定的(大部分が小学生)であるため、経常損益が大きい。
- 学校の校長がバス利用を認めている。
- 現在、土橋自治会の児童が通学用に利用している。(令和6年度対象児童数:26人)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
乗車人数	7,794人	10,400人	10,887人
補助金支出	1,487千円	1,588千円	1,527千円
1乗車あたりの市費	191円	153円	140円

2 今井線退出に伴う今後の検討

【一般利用者】

代替措置として、自主運行バスの運行が検討されるが、運行全体に配慮するとともに、令和7年度から運行を見直す自主運行バスの経路や時刻について、地域の御意見をいただきながら、市民の利便性に配慮した公共交通網の形成を検討していく。

【児童の通学】

今後、地域や保護者の御意見や御要望をいただきながら、学校と協議し、対応を検討していく。

【沿線地域を対象に、現状と令和7年4月から廃止の方針について説明】

- (1) 土橋自治会 … 住民説明会(9/22) ⇒ 保護者からは、代替交通手段を求める声が多くあり
- (2) 今井自治会連合会 … 各自治会長に説明(10/19) ⇒ 廃止については、やむを得ない。
- (3) その他(川井・袋井北自治会連合会長) ⇒ 廃止については、やむを得ない。

通学路の通行量が多いため、児童の安全を最優先したい！
⇒ 児童送迎バス運行を決定

3 今後のスケジュール

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
市議会		●常任委員会 [今井線退出報告]			●補正予算案上程 (予算審議)	●補正予算案議決					
秋葉バスサービス			●袋井市地域公共交通会議 (報告事項として、案件提出)				●袋井市地域公共交通会議 (協議事項として、案件提出)	●運輸支局に届出		●退出	
市の対応			●沿線地域への説明(土橋・今井)	●次年度の対応策検討 ⇒ 児童送迎バス運行を決定	●R7に向けた予算編成			準備期間(業務設計・業者選定・契約締結など)		★土橋の児童送迎開始 	